

令和5年度 第2回西都中学校設立推進委員会会議録

期 日 令和5年11月28日(火)

場 所 コミセン3階研修室

会議時間 14時00分から15時20分まで

出席委員

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
水本明男	○	中武三月夫	○	黒木利美	○
米良広行		山崎芳幸		江藤久成	○
坂本光志		蛭原博康		金丸 昭	○
植野義也	○	長友裕之	○	鮫島良樹	○
財津雅尉	○	柳田益宏	○	青山勇一	○
伊東泰彦	○	竹下英貴	○	大澤由一	○
井上貴房	○	市瀬義弘		日高康史	○
黒木健悟	○	安藝隆典	○	阿萬一皓	○
緒方寿行	○	倉永将平		安藝勝弘	
黒木宏光	○	緒方淳一	○		

事務局 榎本教育長、池澤教育政策課長、押川課長補佐、高松課長補佐、佐伯主幹
待鳥主査、指宿学校再編専門監

議事日程

- 第1 開会
- 第2 教育長挨拶
- 第3 令和5年度第1回学校再編調査検討委員会会議録承認
- 第4 説明・協議
 - (1) 西都市学校再編庁内検討委員会進捗状況について
・西都中学校施設整備内容の見直しについて
 - (2) 校歌について
 - (3) その他
- 第6 閉会

1 開 会

事務局 皆様には、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
よろしく願いいたします。それでは、ただいまより、令和5
年度第2回西都中学校設立推進委員会を始めさせていただきます。
お手元のレジユメに基づき進行させていただきます。

2 教育長あいさつ

事務局 続きまして、教育長あいさつとなっております。西都市教育委
員会教育長がごあいさついたします。

教育長 皆さん改めましてこんにちは。今年は暑い日が続いたかと思え
ば急に寒い日が来たりして、秋を通り越していきなり冬になっ
てくるような気候となっております。今週末にはもう、師走を迎え

まして、皆さん非常にお忙しい中、今日は第2階の西都中学校設立推進委員会に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。前回第一回10月6日に行いました本会では、校訓とかあるいはスクールバスの問題、さらには部活動の問題をどうするかといったところでいろいろ貴重な御意見をいただきました。その後は各検討委員会の意見をいただきながら、事務局としていろいろ検討を重ねている次第でございます。今日はこの後、校舎の整備見直し、あるいは校歌についてまた御意見をいただきたいと思っておりますので、遠慮なく貴重な御意見いただければありがたいなと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

3 会議録承認

事務局

続きまして会議録承認となっております。

第1回の委員会の会議録を事前に送付させていただいております。会議録につきましては、委員の皆様の確認用に作成したものではありませんが、公表することも予定しているところです。内容を御確認いただき、間違い等がありましたら訂正したいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。それから、議等で発言をされる際は、会議録作成のためお名前を述べられてから発言していただきますようお願ひいたします。また、会議録作成のために録音もさせていただきますので御了承ください。それでは、会議録につきまして何かございましたでしょうか。

事務局

それでは、これを成案としまして、本件につきましては終了いたします

4 説明・協議

(1) 西都市学校再編庁内検討委員会進捗状況について

事務局

それでは、ここから4番説明・協議に移ります。

ここからは、西都中学校設立推進委員会設置要綱第6条の規定に基づき、委員長に議長を務めていただきます。よろしくお願ひいたします。

委員長

それでは、議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。本日二つの項目がありますが皆さんの忌憚ない御意見をお聞かせいただきたいと考えております。まず、(1)西都市学校再編庁内検討委員会進捗状況についてです。事務局から説明をお願ひします。

事務局

西都中学校の施設整備につきましては、主に庁内検討委員会で検討を進め、本会の前身組織である再編調査検討委員会において報告し、承認を受けてきました。今回、現在承認を受けている整備内容を大きく変更したいと考えていることから、急遽、本日お集まりいただいた次第であります。まずこれまでの施設整備に対

する考え方と経緯を申しますと・中学校再編計画、これは再編を進めていく上で基本となる令和3年8月に策定した計画ですが、この計画の中で、「施設整備に関しては、既存施設を有効活用し、必要な増改築・改修等を行う」としていました。そのため、生徒数の増加に対応するため、最低限の校舎増築と既存施設の改修を行う方向で検討を進めてまいりました。最終的に現在のプールの場所に西校舎を増築、プールは場所を移し改築することを今年の2月27日に開催した再編調査検討委員会において承認を得ていたところでした。その後になるんですけども、南校舎は3階建ての最も大きな建物で、ほとんどの生徒と教職員が一日の多くの時間利用する学校施設の中心となる校舎なんですけど、令和8年に築60年を迎えます。ただ、この校舎につきましては、耐震工事及び大規模改修実施済みであることから、いずれ建替える必要はあるものの、もうしばらく活用する方向で考えておりました。しかし、今回の中学校再編は、教育環境のさらなる充実を図ることが目的であるという原点に立ち返り、本当の意味で教育環境の充実を図るのであれば、老朽化した校舎の延命により将来に不安を残すよりも、再編のこの時期・タイミングにこそ南校舎を改築すべきではないかと、今更なんですけど、このような考えに至りました。南校舎を改築するメリットとしましては、当然ながら施設の安全面が担保できることと、一から施設設計を行うため最新の教育環境を提供できることがあると考えております。このような理由から、西校舎増築をとりやめ南校舎改築に整備内容を見直したいと考えておるところです。その場合、今後の施設整備についてどう進めていくかといいますと、いったんこれまでの考えをゼロにして、来年度から7年度にかけて新たに基本構想・基本計画に着手し、整備内容全体を改めて再検討したいと考えております。ただし、令和8年4月の西都中開校の時期は変更しないので、それまでに建物の配置に影響を及ぼさない範囲で改修工事のみ、具体的にはここに記載しております、第1体育館の改修、トイレの洋式化、雨漏り修繕、プール改修、グランド表土入れ替えなど、こういったことを実施したいと考えております。スケジュールにつきましては、おおよそ御覧のような感じになると考えております。令和8年度の開校以前は一部改修工事と新しい計画の策定、開校後に新しい南校舎の建築工事に入り11年度からの利用開始を目指します。今後、新たな課題も生じてくると思いますが、子ども達のよりよい教育環境が整備できるということで、この内容変更について御了承いただきたいと思っております。説明は以上になります。御審議よろしくお願ひします。

委員長 はい、説明ありがとうございました。今までの計画から大きく変更になるんですが、御質問ありませんでしょうか。

委員 先ほどの説明なんですけど、以前いただいた西都中学校の配置はこうなりますという図面があったと思うんですけど、これはいったん置いていてという形になるんでしょうか。まず開校が先に来て、その後に改修始めます、配置を変えますという形になるんでしょうか。

事務局 以前お配りしているものというのは、おそらく西側に校舎を増築しますという図面かと思うんですけど、西側に校舎を増築すること自体は取りやめる。そうではなくて、南側の校舎を改築するという事で考えて方向性を変えようということで、スケジュール的には開校の8年度4月までは今ある施設の改修等を実施して、具体的には9年度から改築工事が始まるというような形で考えております。ですから、以前お配りした図面とは配置が変わってくるということになります。

委員長 今校舎の件とか出てますけれども他にありますか。

委員 予定が変わったということで、今初めて私も初めて確認したんですけども、プール改修ということが書かれていますけれどもプールの移設、弓道場の裏ですかね、あっちの方に移設というのはなくなったということでよろしかったですか。結局移設するという理由というのが老朽化というのがありますけど、市役所の庁舎の方から見れる距離にあるんでそれも含めて移設するという事だったんですけど、そこは修繕で終わるんでしょうか。

事務局 以前説明した内容につきましては、今おっしゃられた通り説明してきたところですけども、それにつきましては老朽化しているのも事実でして、以前は別の場所に作り替えるということで説明していましたが、今の場所で改修、大規模な改修を考えているところでございます。ただどのようなところがこれからの検討になりますので、細かいところは何とも申せないところなんですけれども、およそ今の場所での改築に変わるということで予定しております。それから場所を変えるという理由でした市役所からの視線対策というところなんですけれども、同じ場所というところでどうしようかというところなんですけど、現在南側の窓については常時ブラインドを下ろしておくということで対処しております、そうすることである程度気にならない状況になっているのかなと考えておるところです。

委員 ありがとうございます。現状は予定が変更されてまだ詳しいところまで計画はないと思いますけど、一番は子ども達がそういった形で視線がそっちに行くのが嫌という意見があったというこ

とで、そこ辺はブラインドだけではなくまたいろんなこと検討していただいて、いい方法があればそれを取り入れるようなかたちで進めていただければいいのかなと思いますのでよろしく願いいたします。

委員 先ほどのプールの件ですけれども、ブラインドをすることによって少しは緩和されたんじゃないかというお話がありましたが、それは子ども達が緩和されたといってるのか、市役所目線で緩和したといってるのか、そこでたぶん大きく変わってくると思いますので、そこはしっかり妻中学校、子ども達の意見を取り入れてあげてほしいなと思っております。それと、今改修によって時期的なものが示されてますけども、前回の計画が今自分もはっきりと認識していないところではあるんですが、それからすると信仰者ができるのが遅れるという認識でよろしかったでしょうか、お願いいたします。

事務局 新校舎のできる時期というのはもう令和10年度、令和11年度からの利用開始ということなので、当初よりは遅れるということになります。視線対策の件については学校側ともまた協議してまいります。

委員 突然この話が出てきて全然頭になかったんですけど、今日こういう風になるということでもちょっとびっくりしてるんですけども、私達から言って、急に変わったなという気がするんですけども、その辺をもうちょっとお伺いしたいなと思っております。それから、中学校の改修ですね、どの程度改修するかもわからないし、全体像が見えないし、最後が11年度の解体工事になっていきますけれども、これ全部壊すんですか。改修したものを壊すんですか。

事務局 最後の解体のことですけれども、今の南校舎の近くに新しい校舎を作って今ある校舎を壊すという形になります。今ある校舎に手を入れるのではなくて、別の場所に新しい校舎を作って今ある校舎を取り崩すということで考えております。

委員 そしたら新築といった感じなんですか。改修と聞いたもんですから。

事務局 そうですね、まったく新しいものが出来上がるということで考えております。

委員 スペースはあるんでしょうかね。

事務局 配置についてはこれからの検討になるんですけども、何とかうまく設置できるようにこれから検討していきたいと考えております。

委員 わかりました。なるべく早く報告していただけるとありがたい

などと思います。

教 育 長

補足をさせていただきますと、昨年度までの計画でいった時にも、時代の流れというか、資材とか人件費が高騰してきていて、最初の見積もりよりもずいぶん増えていくような状況だったんですね。今後また考えていくと、どうせお金をかけるんだったら、前回の計画は西校舎だけを作って、要は増えた生徒の分の教室を賄うというイメージだったんですね。それよりも今後西都の中学校が一つになるわけですから、生徒数でいくと700近くの大規模校になるということを考えると、やっぱりその未来を担う子供たちの学びの環境をしっかりと保証するということが西都市全体の責務じゃないかなあということを考えて、やっぱり見直しを図った方が良くないかということになったわけですね。だからまあ西校舎を作らずに新しく大きなものをしっかりと作るというようなことで今検討を始めたところです。今後また設立推進委員会の意見を得たうえであと最終的には議会を通していかないといけませんので、そこらあたりで若干いろいろと修正は加えていくことになると思うんですけども、そういったイメージで今考えているところです。要は西都の本当に大切な子どもたちのために立派な環境を作りたいという思いで今考えているところです。

委 員

その建替えに関する費用はどれくらいを考えていらっしゃるんですか。それと今から先、少子化でどんどん子どもが減っていく、その中でも新しい建物をたてていくのかどうか、検討されたのかどうかお願いします。

事 務 局

事業費につきましてはこれからの積算になるので、現時点でははっきりわかりませんが、西校舎を増築で考えていた時の西校舎の床面積が920㎡の2階建てで6億弱程度だったんですけども、今の南校舎今の規模で3700㎡くらいあるので、単純に4倍ほど、建築費が、床面積が4倍になると4倍になると思いませんけれども、ですから20億以上にはなるのかなあと思っております。

委 員 長

予算面とか出ておりますが関連とかないですか。

委 員

その予算はどこから出ますか。国ですか市ですか県ですか。

事 務 局

これもこれからの協議になるんですけども、国の補助金をです、いただけるように進めていきたいと思っております。全額ではもちろんございませんけれども。

委 員 長

その辺の準備もあって開校には間に合わないということでもろしかったでしょうか。

事 務 局

そうですね。国との調整もありますんで。

委 員

今現状の南校舎の建物の面積が3700㎡で聞いたんですけど

も、生徒数が昔の妻中ぐらいには戻るということで、それに対して建物の大きさは今の現状の 3700 m²程度の大きさを予定しているのか、それとも、新しく建てる校舎はそれよりももっと大きくなるのかそこいら辺をお願いします。

事務局 校舎のサイズ、中身についてもこれからの検討になるので、はっきりとしたことは申せませんが、今より大きくなることも考えられると考えております。

委員 そしたら以前の建設計画をA案、今回のをB案とすると、A案をもうほぼ白紙という風に考えてもよろしいのでしょうか。

事務局 改修に係る部分というのは引き継ぐ部分もございますが、メインとなる建物の建築というのがまるっきり別のものになるので、計画としてはほぼ違うものになるのかなと考えております。

委員 そしたら先ほど言われましたけれども、早めの図面とかですね、予想図とかをぼくたちに出してもらわないとイメージがわいてこないでそこいら辺の作業をできるだけ早くこういう場に示していただきたいと思います。

委員 今現在示された計画を見ると9年度から南校舎今のものとは別に建てるということになりますが、8年度にすでに合併して生徒数も多分増えてると思います。その中で別のものを作るスペースがあるのかということが気になります。今現在の地図を見るとですね、校舎の横にテニスコートがあったり、その下にグラウンドがあったりという中で新築を立てるほどのスペースがちゃんと確保できるのかなと、工事ともなれば子ども達の安全を考えてどうしても囲ったりとか、通路を作ったりとかそういうことがあると思うんですけど、合併直後の大きくなった学校で可能なのかなとちょっと疑問に思っています。

事務局 御心配いただいている内容につきましてはごもっともなことだと思っております。工事を実施するに当たっては子ども達の安全に配慮した形で実施したいと思っております。それから、場所についてなかなかイメージがしづらいというところはおっしゃる通りなんですけれども、そこも含めてこれからの検討になるので、あえて今の時点ではこのことかという図で示すことは、本日はしていないところです。この点については御了承いただきたいと思っております。

委員 生徒数も当然増えますが、部活動も増えて子ども達はそれを楽しみにしている部分も多分あると思います。新校舎を作ることによって、せっかく合併して部活も大きくなってできるという場をつぶしてしまうというのも気になるので、そのスペースについても校舎を作る作らない以前にちゃんと説明してこうすればでき

るという計画を出してもらわないとちょっと納得できない部分もあるのかなと思っています。

委員長 校舎の建設が始まった時にそのスペースで部活動ができないとなれば、そこを考えていくということによってよろしいでしょうか。

事務局 部活動それから日常の学校生活に影響の出ないように対応していきたいと考えております。

委員長 今いろいろと質問が出ている中で場所とかイメージができないという御意見も多いんですが、大体この辺にこれくらいのものを作るというのがこの会に示せるのはいつくらいになりますでしょうかね。

教育長 今回こういう形で提案させていただいたのは前回の計画から大きく見直しを図るということで一応一回提案させていただきました。今後今皆さんの御意見を参考にして、もちろん財政的な面が大きいので、例えば国の補助がどれだけいただけるのか、防衛の補助とかありますけれども、いろんな財政的なものがネックになってくるので、そういったところがしっかり見えてきてから具体的な計画を立ててお示しするしか方法がないという風に思いますので、この時点でいつまでに図面が提示できますというところ辺りはまだ説明ができない状況がありますので、随時この設立推進委員会をとおしてきちんと説明していきながら計画を立てて来ますので、そこを御了解いただけるとありがたいなと思います。

委員 もう一回ちょっとお聞きしたいのが、なぜ西校舎を立てようとしたのかというのが一点、それと令和8年度に開校になってまだ旧校舎を使いますといったときに生徒数が増えるわけであって、その生徒数は今の校舎内に入りきるのかその二点をお伺いさせていただきます。

事務局 西校舎を作ろうとしていたのは資料の上段の方にも書いてあるんですが、もともとの計画上の考え方というのが既存施設を有効に活用し必要な増改築、改修等を行うということで、できるだけ費用を抑えた形で生徒数の増加に対応するという考え方でどうしても不足するであろうという部分を西校舎という形で増築して対応しようとしておったところでした。それから、南校舎の改築という方向転換については繰り返しになりますけれども、教育環境の充実ということを考えると抜本的な見直しをした方が効果的だろうということで大掛かりな方向転換になってしまったところなんですけれども、これが子ども達のことを考えればいい結果になるだろうと考えています。それから、当面の生徒数の増

加への対応ですけれども、教室の配置等を改めて考え直して過不足なく対応できるようにしたいと考えているところです。

委員 これに入るのであればそもそも西校舎を作る必要がなかったということですか。ということですよ、今入るんでしょう。

事務局 そこは今検討中です。

委員 何が言いたいかというと、いざ学校に子ども達に来て足りない。それが仮設のプレハブ。そういったところで勉強するとかそういうことになってほしくないなと思っているのでそこはもっとちゃんと考えていただきたいなと思いますのでよろしく願いいたします。

委員 すみませんちょっと理解できないのが、西庁舎を立てて学校をスタートする話から南校舎を改修してより良い教育の充実のためとおっしゃられますけど、例えば西校舎を建てた時と建てなくて南校舎だけで行ったときの教育の充実をする部分の教育の充実ってどういったところが充実されていくんですかね。

教育長 例えば西校舎を増築した場合には結局生徒数の増に対応するだけの教室になってしまうんですね。そうすると今時代が求めている例えば ICT 教育の充実とか、フリースペースを設けている活動をしたりするとか、さらには図書館を整備してというようなところもできないような状況なんですね。生徒数が増えてしまうものですから。そういったことを考えると、南校舎を新築してそういういろんな時代の要請に合ったような充実した環境を作るというのが一番大切な事かなと考えていまして、そういう考えに至ったので変更するという考えなんですけれども、よろしいでしょうか。

委員 新校舎を作って教育面でよくするというのは確かにあるとは思いますが、今現在の南校舎がここに書いてある通り令和8年に60年ということでも今度もし建てるとしたら60年後まで活用していくということにもたぶんなるとは思うんですけど、この令和8年の時点で一番多い生徒数、そこからはどうしても減っていくという試算がある通り減っていく中でやはり今の規模の南校舎規模の新築が必要なのかということも考えていかないと60年後というと私も多分お墓の中に入っているとは思いますが、子ども達もかなり減ってきているんじゃないかと思えます。そんな中で必要な大きさ、規模というものもちゃんと検討して建てた方が計算した方が良いのかなと思います。

事務局 前の質問でもございましたけれども生徒数が減少していく。新たに建てるにあたっての規模感というのは重要になってくるのかなと考えております。その点についてはもちろん十分考慮して

できるだけ将来にわたって無駄にならないようなサイズ感というのは考えていきたいと思っております。

委員 今の計画に沿って前に進んでいくわけですね。昔のやつと今度新しく建て替えるというのとどっちがいいかという政策はまずなくて、今の計画ありきで進んでいくということによろしいんですか。

事務局 はい、もう整備内容の見直しですので、本日説明した内容で今後進めていきたいと考えているところです。

委員 私の個人的な考えなんですけども、新しい校舎を建てた時にちょうどピーク時の人数と教室がマッチすると、そのあと万が一減ったとしても、当然空き教室が出てくるとは思うんですけども、これからいろんな子供たちのニーズが出てくるとは思うんですよ。例えば、なかなか集団になじめないお子さんとか。そうした教室があることで学校に行けるということも考えられなくもないので、決して空いてる教室は無駄ではないのかなと感じますし、また、以前コロナも流行ったんですけども、子どもさんのスペースを空けるとかそういった意味でも教室は多分に必要になってくるのかなと感じるところです。

委員長 大幅な見直し案の方向転換で新しい提案という風になりますが、西都の子ども達の教育環境の強みという点では欠かせないような内容というような説明でありました。議長の私も妻中を預かっておりますけれども、理科室がものすごく狭いとか、図書室の場所がすごく不便なところにあって使いづらいとか、ずいぶん経っていますので今の南校舎もいずれいろんなところにほころびが出てくるということを考えますと、事務局から提案がありました新築というのは将来の子どもにとっては必ずプラスになるような御提案になるんじゃないかと思うところです。今日出ました意見とか含めましてこのような方向で事務局の提案の方向で進めていただくということによろしいでしょうか。

ありがとうございます。では今の提案につきましては以上で皆さんに御承認いただいたことといたします。

委員 一つ質問があるんですが、これは口外いたしませんけど、どのようにして公表していくという考えがおありですか。

事務局 本日お話しした内容というのは議会に対してもこれから説明していくことになります。12月には市議会が控えておりますが、そこで議員の皆さんには説明していきたいと考えておりますけれども、当分の間、こちらから例えばPTAの会長の皆さんでありましたら、ほかのPTA会員の皆様への周知というのはこちらから連絡があるまでは、本会の中だけにとどめておいていただき

いと思います。

委員 期待半分、不安半分という再編ですね。新しい中学校に入ってがんばるぞと入った、ところがプレハブで数年過ぎさなくてはいけないとなった時かなりショックじゃないけどそれだったらもう少し早く言っちゃって言われそうな気がするんですね。だからちょっと質問させていただいたところでした。

事務局 生徒が日常的に過ごす教室については仮設とかプレハブとかではなく、今ある普通教室で学習できるようにしていきたいと考えております。

委員長 早ければ年度内には公表できる可能性があるということでしょうか。スムーズにいけば。

事務局 そうですね。そういうことも考えられます。

委員 あのうここにカッコが二つありますよね。上の方を1として下の方を2としたときに1の上の方のカッコの時の予算としていくらかの予算を見てたんですかね。

事務局 先ほど申しましたが、西校舎を建てる一番大きな部分ですけどそれが6億程度その他改修等を含めると15～18億くらいかなという見立てでした。

委員 今度は新しい校舎を作るというときに30億くらいかかるんじゃないでしょうか。

事務局 これについては今の時点でなかなか額というのは言いづらいんですけど、先ほどちょっと申しました校舎だけ見ても規模感が大きいので、もともと考えておったよりも総額としては上回るという可能性は高いのかなと考えております。

委員 そうしたときに、15億が25億とか30億になりましたと、そしたら予算が付きませんでしたということはないですよ。そういった考え方というのは考えんでいいんですね。

事務局 まあ予算についてはおっしゃる通りやっぱり駄目でしたということには当然したくありませんので、冒頭申しました国の補助をしっかりととってこれるようにこれから話を進めていきたいと思っているところです。

(2) 校歌について

委員長 ありがとうございます。では、2点目の校歌について説明をお願いします。

事務局 私の方から校歌について御報告いたします。資料にもある通り、西都市新中学校設立推進委員会の総務部会において、校歌公募案及び校歌作者について検討した結果、校歌に入れたいフレーズを公募することと、製作はJILLEさんをお願いすることを決めました。JILLEさんからも前向きな回答を得ましたので、西都市

学校再編調査検討委員会や定例教育委員会の同意を得たうえで
ことを進めてまいりました。その途中経過につきましても学校再
編調査検討委員会や定例教育委員会にお伝えしながら、この度校
歌案が届きました。今年の7月12日に開校3年前イベントで
JILLEさんの「未来へ歌い継がれるように心を込めて作りたい」
という思いを、本人からのメッセージとして披露したところですが、
私個人としては大変すばらしいものが出来上がっていると思
っております。届きました校歌案を、総務部会や庁内検討委員会
において披露して感想をお聞かせいただいたところ、さまざまな
意見が出てきました。裏面に歌詞が載っておりますが、それらを
大まかにまとめると資料の4にありますとおり「①3番に変化
を、4番に最後の盛り上げを②指導するにあたって、意識・解説
を」ということとなります。これに本日の皆さんからの意見も交
えて明後日開催される定例教育委員会に報告したうえで、西都市
の感想としてまとめ JILLEさんにお伝えすることにしておりま
す。それではここで校歌案をお聞きいただきますので、後ほど感
想をお聞かせください。まず1回聞いて、2回くらい聞いた方が
良いのかと思いますけれどもお聞きください。

委員長 今2回聞いていただきましたが、御意見をお願いしたいと思
いますが。

委員 4分の3拍子でいいと思います。すごく清々しい歌で。3と
4の間に間奏か何かがあるともっと盛り上がっていくのかなあ
と思うんですが、今校歌にあまり間奏とかないですね。多分こ
れ1番から4番というよりこれ一つで校歌という感じがするの
で3と4の間に間奏が入るともっといい曲になっていくんじや
ないかなとは思いました。

委員 あまり音楽は学生の頃嫌いだったんですけど、結局今までの
学校でだいたい文が3つくらいあって、その中で最後ああ西都
中学校、2番目もああ西都中学校で動いていくと思うんですけ
ど、こんな感じで一つの校歌なんですよね。てなった場合、あ
あ西都中学校をあと1回くらい言った方が…。はい、すみませ
ん。

委員 私も歌うと音痴といわれるのであんまり音楽のこと分からな
いんですけど、校歌って、例えば今日は一番だけお願いしま
すとかいうのもたまにあったような気がするんですよね。そう
なるとこれ一番だけ歌うとこの歌ってなるような感じがして、
ドラマの歌みたいな感じが、申し訳ないんですけど、校歌
ってなるともっとなんか違うような気がするんですけどね。

委員 以前ある研修会で木城学園のPTA会長さんと話をする機会が

ありまして、あそこも合併して校歌も新しくなって、いろいろ保護者の方とか地域の方とか、アルケミストですね。最初は校歌の感じが全然しないと、やっぱり今風で違和感があるという風な話を聞いていたので、聞けば慣れてくるのかなと。さっき言ってましたけど、1番2番3番4番てくくらずとも、これ一つで校歌っていう感じでいいのかな。ただ皆さんから意見が出てますけど、3番と4番の間に間奏を入れたりとか、4番にアクセントを加えていけば、自然といい校歌になるんじゃないかと個人的には思います。

委員　　すごくいい歌だなと思うし、節もメロディもいいかなと思います。あえて欲張りで言わせていただくと、色のイメージが青が多い感じがしてですね、イメージでいくと西都って古代ロマン、西都原古墳を入れてとは言いませんけど、二番に一ツ瀬の源頭で、源頭で源て書いてありますよね。自然の源、歴史の源という意味、二番に大海へと渡るでなくて歴史を感じさせるような表現があると魅力的かなって思ったりしました。

委員　　もう我々の世代が言うべきところではないのかなと。これから新しい時代で、新しいとこで生きていく子ども達が斬新なセンスでとらえられる歌だと思うんですよ。今年の甲子園である学校が斬新な校歌でSNSで「すごい」と上がっていたりする、まったく今までのリズムとも違うし、校歌のイメージとは違うものがこれからの子ども達に新しいパワーとか空気感を送り込む歌であってほしいと思うのもう十分ではないかなと思いました。

委員　　これは子ども達に聞かせてないんですねまだ。子ども達の意見を聞いたみたらどうかなと思うんです。私たちは昭和世代だからイメージというか違うと思うんです。だから子どもたちの意見も聞いてみられたらどうかなと思いました。

委員　　子どもについては、今の意見も検討するというところでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

委員　　言葉として、音楽、曲についてはいいと思うんですけど、指導するにあたって意識・解説をというところに関連するんですけど、指導するときに「菜の花の誓い」、「星雲の情熱」、「秋桜の絆」ここのイメージが指導するときに十分伝えておかないと、菜の花と誓いってどういう風に関係づいていくのかなとか、雲と情熱とどういう関連があるんですかという風なところが出てくるのかなと、西都のイメージで星雲というのがあったのかどうか、若干ちょっと違うかな、もうちょっと海辺の学校かな、ちょっと西都のイメージと合っていたのかどうか、碧の

清々しさが一つ瀬川の緑の流れなのか、そのあたりを十分指導するとき指導者が意味を伝えられるようにしていただきたいなあと思います。あと、曲そのものとか歌詞についても今の大きな流れですね、子ども達が短いフレーズで親しみやすい、全体で時間がかからなかったのでもいいんじゃないかなと思います。あと吹奏楽部がこれを演奏することもあるんですか。3番まで繰り返すとかありましたが、その時、間延びするかなと思います。

委員 4番のですね、歌詞が高らかにとかいうところがありますよね。そしてああ西都中学の最後の音が下がってるわけです。上げたらいかんとやろか。じゃねえと西都中学が沈むような気がして。私あまり音楽が好きじゃなくて。

委員長 また検討していただければと思います。ほかに御質問等なかったでしょうか。ではこの校歌についてのこの提案があつて御意見いただきましたので、こういった形で進めていただくということによろしかったでしょうか。ありがとうございました。

(3) その他について

委員長 それでは、その他について事務局から何かありますか。

事務局 事務局の方から特にございません。

委員長 その他に委員の皆さんから何かありましたらお願いします。

委員 制服・体操着のことについてなんですけど、ある保護者から文書をいただきまして、その文書を読んでみたらおさがりについての項目だったんですけど、その文書の中でちょっと読み上げますけれども、一つすごい違和感があったのが、原則的には制服・体操着は購入するようという文面が書いてあった後に、但し書きで「但し経済状況が厳しい御家庭については兄弟や先輩等から制服をおさがりで使用してもOKとのことです」と言う表現があったんですよね。ぼく個人の見解としては経済状況とかはなしにして、とりあえず5年生と6年生は途中から学校が始まるわけですから、4年生については小学校卒業して入学と同時に西都中が始まるんですけども、5年生と6年生については学校の途中から西都中が始まるということでの処置という風に理解していたんですけども、ちょっとこの経済的状況というのをに入れてしまうんですね、例えばそれが学校関係者・保護者の皆さんに全体に伝わってしまうとおさがりをもらっていく子ども達についての偏見になるんじゃないかなという、言葉は失礼ですけど、乱暴な表現だなという風に思いましたのでそこだけ御意見をお願いしたいと思います。

委員長 関連して他にありませんか。

- 委員 制服については当初は今の五中学校全ての制服でいいということじゃなかったですかね。ゆくゆく一つに統一されればいいんだという風にうかがって居るように思いますけど。
- 委員長 最初に2点目の御意見について回答いただけますか。
- 事務局 制服については基本的には新しい制服を購入していただきたい、というところでありましたけれど、まあおさがりでも当面はいいですよということでそういった御説明でこれまで来たのかなあと。先ほどの文書でありました経済的とかそういうことを理由にということとはこれまでの協議の中でも出てこなかったのかなと思います。その文書についてはこちらは感知していないんですけれども、基本的には、戻りますが、新しい制服を買っていただけるのが原則でありますけど、もしおさがりがある場合はそれも認めますという程度のお話だったかと思っております。
- 委員長 2点目については、一番最初にそういった意見があったかもしれないんですけど、今年度の入学生からは制服も靴もスリッパとかも一斉にそろえようと進んでおります。1点目の件いかがですか。
- 委員 わかりました。相談があった保護者にはちゃんと説明しておきます。はい、ありがとうございます。
- 委員長 うちでも検討で出て、もし着れないのかという保護者がいた場合の説明は、おさがりを活用したいという家庭があった場合には認めるという言い方がいいんじゃないかと、経済的という言葉はやはり後がいけないのでやっぱり出ていましたので御理解いただければと思います。今の件についてよろしいでしょうか。
- 委員 おそらく今の保護者の文書は三納小中学校かなと私の名前で保護者に出したんですね。そういう経済的などという文面が入っていたかどうかは。
- 委員 それは違います三納のではないです。
- 委員 三納の保護者の文書には入っていませんでした。私もさっき見せてもらいましたけど。
- 委員 私も文書を出す際に学校間で保護者に下ろす文書だと微妙なニュアンスが違ったりするのが心配だなと思ったんですね。だから教育委員会にそういう文書を出しますと相談したら校長名だからどうぞ出してくださいと言われたんですけど、ちょっと気になっていることだったなて今思うそういうところです。
- 委員長 いずれにしても、もしおさがりを活用してそれが経済的理由とかそういう目でみんなが見ないように各学校で気を付けていく必要はあるかなとは思っております。他にありませんでしょうか。
- 委員 制服の話とかいろいろおっしゃられましたけど、結局西都市に

住まれている PTA の保護者がみんなおんなじ見解でいるかという
いろいろな温度差があると思うんですね。それは、われわれここ
に参加していらっしゃる皆さんというのは逐一新しい情報が自
分の中に入ってきて意味が分かってくるんでしょうけど、例えば
極端な話、1 年前に話が出た話を今でも保護者の方がそういう風
な形で動くんだよねというふうに思われている人もいるし、半年
前のちょっと変わった情報をこうだよねと言われていた方もい
て、その人が半年も 1 年もたてばどっちがどっちだったかという
話になってきて、それより自分が思うのは短い周期で変わって
も変わらなくても現状は今これだけ経ってますけどこういう状
況ですというのを短いスパンの中で報告していただければこう
いった温度差というのはできるだけなくなってくるのかなと思
っていますので、また決定した周知を短いスパンでお願いしたい
と思います。

委員 長 今のは、例えば次の PTA 総会の時に説明の機会を作るとかそん
な感じになりますか。

委員 そうでもいいですし、ちょっと変化があった時には学校をと
おして文書でもいいでしょうし、そういった形で何らかの形で常に
西都中に対しての意識が保護者の中でも新しい情報が飛び交っ
てくる状態を作ってほしいなど。でない古い情報が飛び交って
新しかったことが古い方に押されてまた古い意見に戻っていく
保護者というのもしゃべりあるんですよ。こないだこんげやっ
たけんまた変わったちゃろうかとか言われるんで、逐一学校で集
まって総会とか参観日とかの連絡でもいいですし、文書も活字に
起こすと読み方次第では違う方向に行きやすいんですけど、まあ
何らかの形で逐一新しい情報を短いスパンで周知していただ
ければということをお願いします。

委員 西都中再編に関する質問等がありましたら校長または教育委
員会にお問い合わせくださいと保護者に伝えてさらに西都市
役所のホームページにも西都中再編に関する情報のページがあ
りますのでそちらも御覧くださいと周知したんですけど、もう少
し再編のホームページがこの会議録とかは出てたような気はす
るんですけど、それを見たらこういうことやったねと確認がで
きるような内容にしてもらえるといいかなと思ったところです。

委員 長 ホーページの内容について御検討いただけることは可能で
しょうか。

事務局 会議録以外にもたくさんの情報を載せておるんですけど、西都
中学校ニュースということで 10 月のこの会議の後にも今の進
捗状況というのを載せておりますので、御確認いただけるとあり

がたいと思ってるんですけど、それでもわかりにくければまた今日の会議の後の記事をわかりやすいものにしたという風に考えております。

委員 前回、会議の中で部活動の話そういった話とかもいろいろと出てきていると思います。今回の会議の中でその内容の御説明が全くございません。プラス前回いろいろ委員さんが言われている内容に対しての御意見もないと私は感じておりますので、今回の会議があれば次の会議では今回の会議の検討事項についてしっかり回答なり検討段階なりで報告していただけると助かります。

事務局 今日の案内の文書に書いていた通り緊急に校舎配置等について変更点が出てきたので今回開催した会ですので、次回には前回出た課題とか言うことで少し御説明はするつもりでありますので、しばらくお待ちください。それから、その会議のときに意見が出ると、次の会議までなかなか回答ができないので、できたら会議の前でも新しい意見とか質問等がありましたら事務局の方にお尋ねいただくと少し回転が速くなるのかなという風なことも思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局 今日は貴重な意見をたくさんありがとうございました。南校舎の建築を今後進めるということで方針転換をしまして今後進めていく予定としております。先ほども御説明しましたが12月議会においてこの件を説明する予定にしております。その後正式に発表できる段階になりましたら公表させていただきたいと思っておりますのでしばらくは会の段階でとどめておいていただければという風に思います。よろしく願いいたします。

委員長 今回の件についてはどうぞよろしく願いいたします。それでは協議を終了いたします。長時間ありがとうございました。後は事務局をお願いいたします。

5 閉会

事務局 本日はありがとうございました。本会につきましては、年度内にもう1回開催したいと考えております。その際には日程調整をさせていただきますので、御回答のほどよろしく願いいたします。先ほど専門監からありましたけど、出欠の報告と一緒にもし事前に質問があればそこに書いていただけるといいのかなと思ったところです。以上で第2回西都中学校設立推進委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。